

No.12-64 JSME ジュニア会友向け機械の日企画

「親子見学会 ～暮らしを支える都市ガス・鉄道を探検しよう～」を終えて

部門企画委員会 木戸口和浩（電力中央研究所）、松本亮介（関西大学）、高橋志郎（日立製作所）

将来を担うジュニア会友に、機械や工学、エネルギーに興味を持っていただくことを目的として、8月3日に夏休み親子見学会を開催しました。本会は毎年開催しており、今年で9回目の開催となりました。今年も、都市ガス、鉄道をキーワードに、東京ガス『がすてな-に』ガスの科学館と東京地下鉄（東京メトロ）綾瀬車両基地を見学しました。59名の児童・生徒、ならびに保護者の方々にご参加いただきました。

参加者は、江東区豊洲にあるガスの科学館に10時に集合し、館内の簡単な説明を受けたあと、各自自由に館内の見学を行いました。「炎のふしぎギャラリー」でさまざまな炎を体験するなど、各展示を十分に楽しんでいました。また、10時半からのクイズ大会、11時からサイエンスショーに、ほぼ全員が参加しました。クイズ大会では、ガスに関連したクイズに取り組みました。テレビのクイズショーのように各自の椅子に備えられたボタンで回答する方式で、白熱したクイズ大会となりました。サイエンスショーでは、風力発電、温度差発電などを身近に体験することができました。

ガスの科学館館内で昼食をとり、バス2台で東京メトロの綾瀬車両基地に移動しました。到着後すぐに点検整備が終了した車両の出庫があり、係員の合図に従って後方から動力車に押されて出庫の様子を、子どもたちは興味深く見ていました。その後、会議室にて20分ほど東京メトロの各車両基地に関する紹介ビデオを見た後、基地内の見学を行いました。当日は30℃を超える暑さでしたが、汗を流しながらも分解された車両の部品を熱心に観察し、東京メトロの担当者に真剣に質問する子どもたちから、熱意を感じました。ガスの科学館、綾瀬車両基地とも、次々と担当者に質問をする子どもたちの姿を見ることができ、見学会の必要性を再認識しました。

参加していただいた子どもたちには、見学会の感想などの自由研究作品（感想文、絵日記、工作など）の応募をお願いし、提出していただいた全員に記念品を、また優秀作品には賞状と副賞を贈呈します。優秀作品については、日本機械学会ジュニア会友ホームページなどで紹介する予定ですので、ぜひご覧ください。

最後に、今回の見学会で大変お世話になりました東京ガスガスの科学館、東京メトロ綾瀬車両基地に感謝申し上げます。

